

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道南	函館市	函館いか踊り	3～10名	2名 5,000円	30分	吉川実行委員長 (0138)26-3013	団体客や修学旅行の宿泊先へ出向き、踊り方の講習や体験ができます。
	函館市	郷土芸能函館巴太鼓振興会	5～10名	1回 50,000円	5分～30分	事務局(函館商工会議所内) (0138)23-1181	昭和44年に「全国に誇れる郷土芸能を創作し再び活気ある街に」の合言葉のもと誕生し、現在も各種イベント等の参加で市民に親しまれています。
	函館市	南茅部大漁太鼓	6名		15～20分	(0138)25-3789	漁業開拓三百年を記念して創作された大漁を願う太鼓。
	函館市	大船南部神楽	10～12名	実費	30分	(0138)25-3789	青森県南部地方から伝わった躍動感ある神楽。戦後四十数年間途絶えていたが、地元の有志が起源を訪ね見事に復活させた。
	函館市	木直大正神楽	10名		30分	(0138)25-3789	大正元年、青森県南部地方に伝わる神楽を導入して現在に至る。大正天皇即位に因んで命名された。
	函館市	安浦駒踊り	15～20名		30分	(0138)25-3789	江戸末期、青森県南部出身者が伝えたと言われる。テンポの早い拍子、激しい踊りが特徴。
	函館市	豊崎手踊り会	25～30名		40分	(0138)25-3789	明治・大正の初期、新潟方面からの出稼者が故郷を思い、酒の席で踊っていたとされる。30種のレパートリーがある。
	北斗市	上磯奴	30余名	特に規定なし(応相談)	30～60分	北斗市教育委員会社会教育課 (0138)74-2000	「上磯奴」の原形は、江戸時代の大名行列に由来するもので、町内神社の大祭で御輿渡御行列の門払いの先駆として現在も存続している。(北斗市無形民俗文化財指定)
	北斗市	有川天満ばやし	7～8名	特に規定なし(応相談)	15～20分	北斗市教育委員会社会教育課 (0138)74-2000	嘉永6年(1853)に有川大神宮が大阪で購入した御神輿と一緒に祭り行事に組み込まれたと考えられ、大阪の天満ばやしに伝授されたものと思われる。(北斗市無形民俗文化財指定)
	北斗市	大野ぎおんばやし				北斗市教育委員会社会教育課 (0138)74-2000	全国各地の名主に保護された豊年を祝う神楽で、北前船によって享保年間(1716～35)に旧大野へ伝えられたと推定されている。(北斗市無形民俗文化財指定)
	松前町	松前祇園ばやし (道指定無形民俗文化財)	30名	特に規定なし(応相談)	30分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	松前城下祭りの山車巡行の音曲で、大太鼓、小太鼓、三味線等ではやす。現在十二曲あり、そのうちの二曲には踊りがついている。
	松前町	古城太鼓	20名	特に規定なし(応相談)	30分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	北海道唯一の城下町と桜の名所松前にちなんで、桜太鼓三部作を創作。城下ばやし、海鳴り、波しぶきと松前の四季折々を演出したふるさと太鼓。
	松前町	江良杵振舞	20名	特に規定なし(応相談)	30分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	町指定文化財。数人の人たちが杵を持ち、お囃子に合わせて踊る。
	松前町	松前沖揚げ音頭	15名	特に規定なし(応相談)	10分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	町指定文化財。鯨漁は大勢の男たちが力を合わせ、一連の厳しい作業(船漕ぎ、網起し、沖揚げ、子叩く)に従事したが、その中からそれぞれ特有の唄が生まれた。
	松前町	月島奴振り	24名	特に規定なし(応相談)	30分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	町指定文化財。松前家奥方の登城のときの奴振りと言われている。24名で構成される大名行列。
	松前町	白神タナバタ	30名	特に規定なし(応相談)	30分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	町指定文化財。南部七夕踊りが白神に伝えられて始まった。掛け声で棒や扇をふる太刀振舞。
	松前町	松前神楽(国指定 重要無形民俗文化財)	10名	特に規定なし(応相談)	1時間	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	かつて松前藩内の神社に伝えられ、今では北海道各地の神社で行われている。三十三の神事と舞からなり、格調高い優雅な舞を見せる。
	松前町	雨竜太鼓	10名	特に規定なし(応相談)	20分	松前町教育委員会 文化社会教育課 (0139)42-3060	小島地区の地域性と奇岩、奇石美しい海を象現している
	森町	もりまち太鼓	8名	協議による	15分	森商工会議所 (01374)2-2432	長銅太鼓、締太鼓、一枚太鼓の三種類で演奏される。
	森町	正調沖揚げ音頭	15名	特に規定なし(応相談)	15～35分	森町漁業協同組合 (01374)2-2222	大漁でにぎわう漁師の網おこしの歌。
	森町	濁川越中神楽	5～10名	特に規定なし(応相談)	10分以内	濁川越中神楽保存会 (01374)7-3063	明治43年濁川入植者の郷土に伝わる越中神楽をもとに完成。神社祭典や祝い事の余興で披露される。
	森町	砂原権現太鼓	10名	特に規定なし	20分	砂原権現保存会 (01374)8-3601	約480年前から護国豊穡・海上安全の神として奉られている権現山内浦神社から、名前をいただき、小中学生を中心に町内外の行事に積極的に参加しています。
	森町	沼尻駒おどり	10名	特に規定なし	5分	沼尻駒おどり保存会 (01374)8-3111 森町役場砂原支所内 落合浩昭	地区の小中学生を対象に父母の指導のもと、地域のお祭りや、砂原地区交化祭に参加しながら活動しています。
	江差町	江差餅つき囃子 (道指定無形民俗文化財)	17名	1回 56,000～464,000円 (道内～道外)	10分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	縁起のよい唄ではじまる陽気な楽しいもので、祝い行事に多く出演している。
	江差町	江差追分 (道指定無形民俗文化財)	3名	1回 16,000～133,000円 (道内～道外)	10分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	馬子唄が船唄に変わり、船唄が江差追分になったといわれている。波の音とも風の音ともつかない哀切と凄絶の織りなした生命の唄。
	江差町	江差追分踊り	7名	1回 28,000～269,000円 (道内～道外)	10分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	北海道独特の厚司姿を取り入れて櫓を手にし、飛び交うカモメや波の動き、ニシン船を漕ぐ様子を静かな動きで表現している。
江差町	江差沖揚げ音頭 (道指定無形民俗文化財)	11名	1回 41,000～305,000円 (道内～道外)	15分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	鯨漁の出船から港に帰るまでの状態を唄と踊りで演出したもの。	

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
	江 差 町	江差さめ踊り	15名	1回 46,000～406,000円 (道内～道外)	5分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	網にかかったサメの様子を踊りに表現し、その霊を供養した踊り。
	江 差 町	江差三下り (道指定無形民俗文化財)	5名	1回 26,000～221,000円 (道内～道外)	10分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	江差追分の元唄で商人的な唄であり、踊りは男女の道行きを表している。
道南	江 差 町	五勝手鹿子舞 (道指定無形民俗文化財)	15名	1回 46,000～406,000円 (道内～道外)	18分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	一頭の雌鹿子を三頭の雄鹿子が争奪しあい、老いた鹿子が仲裁に入るという物語を踊りで表現している。
	江 差 町	土場鹿子舞	15名	1回 46,000～406,000円 (道内～道外)	20分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	三頭の鹿子による三部構成の踊りは、津軽鹿子の系統の神事の原型をとどめている。鹿子頭は津軽地方に残るものより原型に近いと言われている。
	江 差 町	田沢鹿子舞	15名	現在、活動休止(地域保存のみ 実施中)	30分	江差町民芸団体連絡協議会 (江差追分会館内) (0139)52-5555	松前藩公の命によりヤマメ取りへ出かけた数人の若者が、五頭の鹿が争っているのを見てまとめた舞といわれる。母鹿、若雌鹿、3頭の雄鹿による物語。
	八 雲 町	奇岩雲石太鼓	7名	謝礼程度	10分	奇岩雲石太鼓保存会(役場総合支所産業課内) (01398)2-3111	五十二年に創作されたもので、奇岩雲石にまつわる伝説を創作している。
	八 雲 町	相沼奴	41名			相沼奴保存会 会長 沢谷藤四郎 (01398)3-8219	1859年(安政6年)、相沼八幡神社の御神殿再建立の祭典に奉納した。以来150年、地域の有志により受け継がれてきた。
	上ノ国町	大留鹿子舞	5名	特に規定なし(応相談)	20分	上ノ国鹿子舞保存会 松山 辰一	上ノ国大留地区に入植した人々が、大千軒岳に住んでいるといわれた鹿を形どり、魔よけと五穀豊穡や地域の平和を願い、大留山神社に奉納したことが起源とされる伝統芸能。
	上ノ国町	石崎奴	20名		10分	上ノ国町教育委員会(0139-55-2230) 上ノ国石崎奴保存会 工藤秀人(0139-59-2255)	石崎地区に伝わる道中奴。熊毛の長柄の槍を振り手甲や脚絆、印籠などを身につけて行進し道中では一人が上の句を詠むと、一人が下の句を詠み返すという風流なものです。道中奴、神輿の渡御行列に供俵し行列の後には山車がつきます。
	上ノ国町	滝沢太鼓	30名	特に規定なし(応相談)	20分	滝沢小学校(0139-58-5036)	創立32周年が立ち、地域のイベントや学校行事で演奏している。
	上ノ国町	龍焰太鼓	8名	1回 20,000～30,000円	20分	上ノ国鼓友会 古川尚樹(上ノ国町教育委員会内 0139-55-2230)	昭和63年、上ノ国800年祭の火祭りを機に結成。以後20年、夏の大イベント「エソ地の火まつり」を盛り上げている。
	せたな町	北海道久遠太鼓	10～20名	謝礼+旅費 程度	10～15分	せたな町大成教育事務所内	昭和58年創設。日本海の荒波に打たれながらも、生き生きと働く人々をイメージしている。現在は小学生が伝承。
	せたな町	久遠神楽	20～26人	謝礼+旅費 程度	15分	せたな町大成教育事務所内	明治30年頃、青森県南部出身者が伝える。現在地元の高校生がクラブを結成して伝承に努めている。
	せたな町	三杉太鼓	12名	謝礼+旅費 程度	10分	瀬棚町三杉太鼓保存会 せたな町瀬棚総合支所内	瀬棚の代表的な名勝三本杉岩を表し、日本海の荒海と戦った開拓先人を偲ぶ太鼓。
	せたな町	松前神楽瀬棚保存会	14名	謝礼+旅費 程度	10～40分	松前神楽瀬棚保存会 綿谷信一(指導者) (0137)87-3010	踊り子14名、賛助会員34名。松前神楽を愛好し、神楽の伝承保存と舞楽演技技術の練磨を行っている。
	厚 沢 部 町	俄虫鹿子舞	17～21名	謝礼+旅費 程度	45分	厚沢部町教育委員会社会教育係 (0139)64-3311	太鼓、笛、さらによって構成される。クライマックスは二頭の雄鹿が雌鹿を得るため激しく争うが愚を悟り、三者相和する場面が展開される。
	厚 沢 部 町	安野呂鹿子舞	17～21名	謝礼+旅費 程度	45分	厚沢部町教育委員会社会教育係 (0139)64-3311	〃
	厚 沢 部 町	土橋鹿子舞	17～21名	謝礼+旅費 程度	45分	厚沢部町教育委員会社会教育係 (0139)64-3311	〃
厚 沢 部 町	当路鹿子舞	17～21名	謝礼+旅費 程度	45分	厚沢部町教育委員会社会教育係 (0139)64-3311	〃	
奥 尻 町	奥尻祈漁太鼓	10名		15分	奥尻町教育委員会 (01397)2-3890	天保年間の頃、宮津弁天宮で漁師が大漁を祈願して打ち鳴らしたものです。	
今 金 町	狩場太鼓	5～10名	1人 5,000円	30分	今金町観光協会 (01378)2-3561	狩場山と住民の四季を讃い上げたもの。太鼓の音は一年の収穫に対する神への感謝と主峰への祈り、明日への良き日の希望を託して打ち上げる。	
道央	札 幌 市	橋本流地獄太鼓和太鼓会				橋本光司 (011)572-5233	
	北 広 島 市	北広島ふるさと太鼓	39名	特に規定なし(応相談)	15分～	北広島ふるさと太鼓保存会 (011)373-3333	明治17年に広島県から移住してきた先人たちの、ふるさとづくりの努力と“熱”と“魂”を表現する太鼓。
	江 別 市	野幌太々神楽	1～6名		15～30分	江別市教育委員会 郷土資料館文化財係 (011)385-6466	明治三十一年に、神楽師範五十嵐金作氏を中心に始められたもの。新潟県中越地方一帯に伝わる出雲流の神楽を受け継いだもので、二十種類の舞がある。
	恵 庭 市	恵庭すずらん踊り	約30名	特に規定なし(応相談)	30分程度	恵庭すずらん踊り保存会 (恵庭市教育委員会社会教育課0123-33-3131)	郷土芸能として創作され、昭和48年に設立された保存会により、各種イベントへの出演などで活動。鳴子を使用したテンポのある踊りが特徴。
	恵 庭 市	恵庭岳太鼓	約30名	特に規定なし(応相談)	10分程度	恵庭岳太鼓保存会 (恵庭市教育委員会社会教育課0123-33-3131)	郷土芸能として創作され、昭和59年に設立された保存会により、各種イベントへの出演などで活動。名峰「恵庭岳」をイメージした、豪放な創作太鼓。

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道央	石狩市	石狩太鼓	31名	特に規定なし(応相談)	20分	小池裕明(自宅)(0133)66-3651	昭和54年に設立され「石狩川の夜明け」を始めオリジナル曲をマスターしている。全国青年大会にも4回出場しており最優秀賞にも輝いている。
	石狩市	石狩越後盆踊り保存会	29名	特に規定なし(応相談)	7~8分	栗谷益太郎(自宅)(0133)74-1978	石狩発祥の地、本町地区で古くから親まれた盆踊りを保存し、伝承していくために設立。
	石狩市	望来獅子舞	40名	特に規定なし(応相談)	15~20分	望来獅子舞保存会事務局 高田恭宏(0133)77-2155	昭和5年望来神社の移転新築によせて、故郷富山県の獅子舞を復元したものをルーツとする。昭和58年からは望来中学校(H19.4統合により現在は厚田中学校)で伝承活動に取り組んでいる。
	石狩市	川下八幡神楽	10名	交通費他応相談	20分	永塚俊幸(0133)78-2010(厚田支所)	明治38年頃、山形庄内から移住した人々が郷里を偲び五穀豊穡と郷土の安全を祈願して神前に奉納したのが始まりとされ、毎年8月15日の本祭では、奴道中、お神輿とともに地区内を練り歩く。
	新篠津村	しんしのつ田園太鼓	8名		15分	しんしのつ田園太鼓保存会(役場内) 金兵(0126)57-2111	今日ある緑豊かな田園・新篠津村をつくりあげた先人のたくましい開拓精神を受け継ぎ、農家の青年が中心となって設立。
	小樽市	高島越後盆踊りの行事	20~80名	応相談	15分~	事務局西島(0134)27-2094	かつてにしん漁場として栄えた高島地区に、新潟県北蒲原郡地方出身者により伝えられた盆踊り。平成13年7月小樽市指定無形民俗文化財。
	小樽市	潮太鼓	12~13名	50,000円(その他相談可)	15~20分	小樽潮太鼓保存会 川端(自宅)(0134)27-2511	日本海の荒海、大波、小波を表わし、港町小樽の意気込みを打ちならす太鼓。
	小樽市	忍路鯨漁労の行事	16名	特に規定なし(応相談)	30分	忍路鯨場の会 相馬 義春(0134)64-2960	江戸末期から昭和初期にかけて栄えた鯨漁労に携わる人々の仕事歌を継承。昭和55年、市の無形民俗文化財に指定された。
	小樽市	松前神楽小樽保存会	6~10名	30分 50,000円	30~120分	潮見ヶ岡神社 本間(0134)22-8230	350年~400年の歴史をもち、小樽に伝えられて120年、今、国指定に向けて活動致しております。
	余市町	北海ソーラン太鼓	7~9名	特に規定なし(応相談)	30分	余市商工会議所(0135)23-2116	勇壮な鯨漁の漁場の一連の作業を情景豊かに太鼓によって表現したもの。
	余市町	正調ソーラン沖揚げ音頭	10~15名	特に規定なし(応相談)	30分	余市商工会議所(0135)23-2116	鯨漁とともに生まれ育ってきた舟漕ぎ音頭から始まる一連の作業唄。
	仁木町	若鮎太鼓郷土芸能保存会	15~20名	特に規定なし(応相談)	30分	若鮎太鼓郷土芸能保存会	ロマンカントリー大江国の誕生で地域の活性化を願う若者が中心となり、山口県より伝わる民芸太鼓を含め仁木町郷土芸能若鮎太鼓として平成元年に発足。
	仁木町	仁木町阿波踊り会	20~30名	特に規定なし(応相談)	30分	仁木町阿波踊り会	仁木のルーツである徳島県川島町と仁木町が昭和49年姉妹町盟約結び以後、仁木町の郷土芸能として活動。
	古平町	たらつり節踊り	10名	特に規定なし(応相談)	7分	古平町観光協会(0135)42-2181	たら漁場として古い歴史をもつ古平の人達の思いがこめられた踊り、動作はたら漁の作業を表している。
	古平町	北海道五大民謡「たらつり節」				古平町役場(0135)42-2181	古平は北海道5大民謡「たらつり節」発祥の地でH2.9から全国民謡大会を開催 ※都合によりH19より活動休止中
	積丹町	積丹町鯨場音頭保存会	10~15名		20分	積丹町経済部商工観光課(0135)44-2111	鯨の全盛時代に、全道のヤン衆が声を合わせてこの歌を唄い、鯨漁に励んでいた。ソーラン節の勇壮な歌に踊りを加えた。
	神恵内村	神恵内竜神鯨場沖揚音頭	20名		25分	神恵内竜神鯨場沖揚音頭保存会(0135)76-5615	鯨漁が盛んな頃に作られ、現在は踊りも添えられている。
	神恵内村	松前神楽	20名		50分	神恵内村松前神楽保存会(0135)76-5163	漁業者を中心にして郷土芸能として継承している。
	岩内町	岩内赤坂奴 (いわないあかさかやっこ)	27名	なし (岩内神社例大祭以外は活動しない)	9:00-17:00 9:00-21:00	岩内赤坂奴保存会 事務局:(0135)62-1686	町指定無形文化財。大名行列に由来する荘厳且つ、独特の足さばきで2基の神輿を先導。約90年の歴史。
	寿都町	寿都松前神楽保存会	34名	特に規定なし(応相談)	40分	寿都松前神楽保存会 会長 小島 剛(0136)62-2408	毎年7月に催行されている寿都神社例大祭などで、松前神楽や寿都独自の神楽舞(ヤッサ)を社殿及び神楽殿において奉納している。
寿都町	寿都弁慶太鼓保存会	13名	特に規定なし(応相談)	10~15分	寿都町役場(0136)62-2511	平成4年12月に結成。古くから伝わる弁慶伝統を太鼓で表現。老人ホーム等の慰問や各イベントに参加	
ニセコ町	ニセコ高原太鼓	8名	特に規定なし(応相談)	20分	ニセコ愛鼓会	町の開基90年に作られた。ニセコの雄大な景観と開拓以来の歴史、そして未来に向けての無限の夢を表現。(大太鼓1名、中太鼓4名、小太鼓2名、擦鐘1名)	
倶知安町	羊蹄太鼓	約100名	特に規定なし(応相談)	15~30分	くっちゃん羊蹄太鼓保存会(0136)21-4141	羊蹄、ニセコの雄大な自然を太鼓で表現。町指定無形民俗文化財。	
倶知安町	赤坂奴	約50名	特に規定なし(応相談)	10分	倶知安町赤坂奴保存会(0136)21-4141	昭和8年から倶知安神社例大祭で御輿渡御行列をしている。町指定無形民俗文化財。	
共和町	豊稔太鼓	10~17名	特に規定なし	約10分	共和町豊稔太鼓保存会 事務局長 鈴木宏(0135)73-2709	昭和50年、散村合併二十年、町制施行五年という記念すべき年に、町の農業など光景する青年たちの強い要望により、郷土の芸能として豊稔太鼓が誕生した。	
真狩村	真狩祝太鼓	8名		20分	真狩祝太鼓保存会(0136)45-2570		
真狩村	浦安の舞	4名	特に規定なし(応相談)	20分	浦安の舞保存会(0136)45-2303	昭和15年全国の神社で斎行された奉祝祭で御神慮をお慰めするとともに世界平和の祈りをこめて全国で奉納された。昭和49年に8真狩村郷土芸能の指定を受けた。	

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道央	真狩村	真狩村赤坂奴(あかさかやっこ)保存会	22名			赤坂奴保存会 事務局 (0136)45-3336	村内の有志によって昭和34年に発足した赤坂奴は平成18年5月、真狩村無形民俗文化財に指定され、より地域に密着した伝統芸能に成長しつつある。
	室蘭市	室蘭神楽(むろらんかぐら)				室蘭神楽保存会	新潟県の三条市一円で行われている「三条神楽」の伝統を受け継ぐもので、32の舞から成る。現在は、地元愛好者により保存会が結成されており、保存と継承が続けられている。
	室蘭市	御供獅子舞	12名		約20分	室蘭市香川町郷土芸能保存会	香川県からの入植・開拓に伴い、伝授されたもの。勇壮果敢に踊る様は、暴れ獅子を想像させ野性味あふれる豪壮しさが特色。
	伊達市	伊達市仙台神楽	15～30名		10～30分	伊達市仙台神楽保存会 (0142)23-2751	昭和四十四年の伊達市開基百年を契機として復活された。幣束の舞、剣の舞など十二種類からなっている。
	伊達市	さんさ時雨	35名		6～8分	伊達市さんさ時雨保存会 (0142)25-5597	
	洞爺湖町	香川獅子舞	37名		25～30分	香川獅子舞保存会 (0142)82-5844(大広)	明治36年に四国の讃岐地方から移住した人々に伝えられた。終戦直後まで神社祭典などで奉納されいも活動は活発に続いている。
	洞爺湖町	曙獅子舞	10名		25～30分	曙獅子舞保存会 (0142)82-5779(藤川)	明治22年洞爺湖畔の曙地区に香川県からの一行が入植、獅子舞が持ち込まれ、曙獅子舞が始まる。
	洞爺湖町	月浦獅子舞	12名			中村	明治33年、月浦神社建立を機に、香川県神田に伝わる獅子舞を取り入れて始められた。18の舞で構成されている。
	壮瞥町	仲洞爺獅子舞	20名		17分	高井 勝彦 (0142)66-2355	香川県から入植した先人が伝承したもので、バチさばきが見もの。
	壮瞥町	滝不動地吹雪太鼓	14名	町内及び近郊 50,000円 札幌市内・近郊 100,000円～	20～30分	堀口 一夫 (0142)66-2683	昭和新年や四季を太鼓で表現している。
	壮瞥町	久保内獅子舞	10～15名	1回 100,000円(交通費込)	15分	千田 重光 (0142)65-2752	活発な演技は見もの。
	登別市	熊舞の会	7～10名	30,000円	15分～20分	登別国際観光コンベンション協会 (0143)84-3311(中平)	大昔、獣道に迷い込んだ旅人が熊と出会い、熊の導きによって温泉を発見したという話を郷土芸能として創作。
	白老町	虎杖浜 越後盆踊り保存会	87名		30分	白老町教育委員会 (0144)85-2666	新潟県北蒲原郡紫雲寺町や聖籠町から明治中頃、虎杖浜へ移住した漁民らにより、保存されたが発祥地では既にその原型は失われている。
	白老町	アイヌ古式舞踊(国指定重要無形民俗文化財)	10名～	25万円～	20分～	(財)アイヌ民族博物館 (0144)82-3914	イヨマンテリムセ(熊の霊送りの踊り)、ムックリの演奏、ピリカの唄。鶴や水鳥等の動物をモチーフとした女性中心の民族舞踊を数種類公演。
	苫小牧市	勇払千人隊芸能保存会	15名程度	特に規定なし(応相談)	40分	事務局 大石 (0144)56-1010	苫小牧の伝承芸能として、「御食会太鼓」を包括的に継承し、現在に至っています。
	安平町	追分いぶき太鼓保存会	10名	特に規定なし(応相談)	15分	高橋 克美(会長) (0145)25-2663	地域の祭や病院施設の行事等他、道内各種イベントに参加し地域文化の継承や活性化のために活動しています。
	安平町	早来すずらん太鼓保存会	10名	特に規定なし(応相談)	15分	高林 優一 (0145)23-2644	逆境にめげず、次代を担う子供たちに可憐で美しい花の心を持ち続けてほしいという願いが込められている。
	様似町	さまにアボイ太鼓	9～12名	特に規定なし(応相談)	5～30分	さまにアボイ太鼓事務局 根城悌司 (0146)36-2416	古式ゆかしい火祭りの儀式的姿を、勇壮な太鼓の音に表したのも。
	えりも町	えりも駒踊り	20名	特に規定なし(応相談)	20分	えりも町教育委員会 (01466)2-4629	豊漁を祈願する踊りで、「流し馬」「あい馬」「遊び馬」の三つの踊りからなり、二部で構成されている。
	えりも町	襟裳神楽	20名	特に規定なし(応相談)	15～20分	えりも町教育委員会 (01466)2-4629	百五十年以上前から航海の安全と大漁を祈願して踊り継がれている。笛・太鼓・かねのはやしと、笹ふりといわれるヒョッコに合わせて獅子が舞う様子は貴重なもの。
	新冠町	判官太鼓	5～15名	特に規定なし(応相談)	15～30分	新冠判官太鼓保存会 (01464)7-2111	昭和四十五年に創設された。勇壮なリズムで新冠の自然と産業をうたいあげる。
	日高町	日高山岳太鼓	5～10名	特に規定なし(応相談)	30分	日高山岳太鼓保存会(日高西部消防組合日高支署内) 渡辺 隆 (0145)76-2244	日高山脈のふるさと日高町にふさわしい原始の姿を叩き出す太鼓。
	日高町	木遣り	5～8名	特に規定なし(応相談)	20分	日高町木遣り保存会(日高町観光協会 01457-6-2008)	作業唄に合わせて鳶で丸太を運ぶ。(町外公演しない)
	日高町	蛍太鼓	10～15名	特に規定なし(応相談)	30分	蛍太鼓(日高町富川東4丁目) 志間 隆生 (090-1525-1907)	地区に蛍の生息地があることから命名。静と動のコントラスト。
	日高町	門別獅子舞	20～25名	特に規定なし(応相談)	30分	門別獅子舞保存会(日高町富川東1丁目)(門別図書館郷土資料館) 川内 谷 隆 (01456-2-3746)	富山県からの移住の際に伝わった稲荷神社の獅子舞として伝承
新ひだか町	ほうらい太鼓	8名	1回 50,000円	15～20分	新ひだか町商工会 三石支所 (0146)32-3109	伝説と高山植物に彩られた神秘的な蓬萊山、日高山脈を源とする三石川の清流などをたくみなバチさばきで表現している。	
新ひだか町	延出郷土芸能	15～20名	実費	10分	延出郷土芸能保存会 斉藤 武 (01463)3-2292	豊年枺踊り(傘踊り、カカ踊り、樹踊り、手踊り、南部盆踊り)5部作からなる。兵庫県淡路島から伝承された。	

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道央	新ひだか町	歌笛越前踊り	15～25名	実費	15～30分	歌笛越前踊り保存会 北海道 健一 (01463)5-3801	越前踊り(千本搦、キリギリジャン、ヤンコラセ、ヤッサカサイサイ、ヒッチョイチョイ)五部作からなるもので、福井県から伝承された。
	新ひだか町	しずない阿波踊り協会	20名～	1回 50,000円(応相談)	15分～	田村尚之(事務局) (090)2692-3614	平成9年7月に徳島県阿波踊り協会より、当協会所属の連が認定を受け、その後2連が認定され、徳島県阿波踊り協会北海道静内支部として活動中。
	岩見沢市	郷土芸能 豊年太鼓鼓楽会	6～10名	特に規定なし(応相談)	15～20分	大山 憲二 (0126)22-1170	昭和41年に、郷土芸能として創作された豊年太鼓を正しく継承し、発展させ、永く後世に伝承する。
	岩見沢市	ほろむい太鼓同志会	10～15名	特に規定なし(応相談)	15～30分	今井 和男 (0126)26-1092 携帯電話090-2053-6288	幌向の開基100年を契機に、郷土芸能の創造と青少年の健全育成を目的に発足し、後世に伝承する。
	岩見沢市	栗沢太鼓同志会	20名	1回 50,000円(応相談)	7～25分	高島 信雄 (0126)45-2843 携帯 090-3775-9445	昭和57年、郷土太鼓として発足。栗沢豊穡祝太鼓、栗沢絶世太鼓、雄飛ほか3曲を持ち、力強さを身上とする。
	岩見沢市	北村太鼓同志会	7名	特に規定なし(応相談)	15～30分	中曽根宏太郎 携帯 090-8639-5445	昭和63年に発足、北村の開拓精神・将来・四季に思いを込め若者達の村おこしにかける意気込みで活動を続けています。
	三笠市	三笠太鼓	3～7名	特に規定なし(応相談)	20～30分	三笠太鼓 (01267)2-7975	三笠の開拓時代から現在までの移り変わりを独自の振付で表現。
	三笠市	三笠甚句	14名	特に規定なし(応相談)	10分	三笠甚句保存会 (01267)2-6635	三笠の四季を題材に、振付、メロディーを作り表現したもの。
	三笠市	恐竜みこし	120～130名	特に規定なし(応相談)		三笠 睦 (01267)2-2394	胴の本体部に四体の恐竜の上半身像を背中合わせに据え、周りに「雲」、三笠の木「ナナカマド」の葉の木彫を飾り、屋根の四隅にも恐竜が付くというユニークなもの。
	美唄市	峰延東傘踊り	10名	特に規定なし	5～15分	(0126)67-2039	きらびやかな傘を回しながら舞う傘踊りは鳥取県の農村で生まれた「雨乞い」と「供養」の踊りで、活発かつ華麗な踊り。
	滝川市	躍進太鼓	46名	謝礼程度	15～20分	林富美雄 (0125)24-5334	滝川の発展を願う意図を太鼓に託し、演出している。
	滝川市	屯田太鼓	15名	謝礼程度	20分	神原孝夫 (0125)75-2160	明治二十七年に開拓のために入植した屯田兵の苦労を太鼓で演出。昭和四十六年六月に発足し、現在レパートリーは「村まつり」の他に7曲ほどある。
	滝川市	龍栄太鼓	30名	謝礼程度	20～30分	及川喜三 (0125)23-2220	郷土の発展を願う太鼓。
	芦別市	芦別獅子	約10名	特に規定なし(応相談)	5～60分	芦別獅子保存会 大沢会長宅(0124)23-1355	富山県からの入植者が郷里の越中獅子を再現し、明治33年に芦別神社に奉納したことに始まる。9種の舞がある。
	新十津川町	新十津川おどり保存会	17名	協議による	10～30分	新十津川町教育委員会 (0125)76-4233	十津川村からの移住者や開拓後他府県の移住者によって踊られたもので、現在では「もちつき踊り」や「大踊り」の他20もの踊りがある。
	新十津川町	獅子神楽保存会	56名	協議による	20分	新十津川町教育委員会 (0125)76-4233	町指定無形文化財の第一号。富山県砺波市より伝わり、百年以上の歴史を持ち、町立新十津川小学校でも伝承活動が行われている。
	新十津川町	徳富太鼓	15名	謝礼程度	15分	新十津川町徳富太鼓会 会長 柳生 留美子(080-6015-4853)	今やイベントには欠かせない団体として活躍。また子供たちでつくる「鼓狸」もできて、ますます活躍が期待される。
	新十津川町	鼓狸	25名	謝礼程度	15分	代表 工藤 晃敬(0125)76-2959	徳富太鼓を練習する子どもたちがつくる団体。イベントには欠かせない団体として活躍している。元気な活動でイベントを盛り上げる。
	雨竜町	暑寒連山太鼓	7～10名		6～7分	雨竜町暑寒連山太鼓保存会 (役場総務課) (0125)77-2211	暑寒連山の雄大さを太鼓で表現する。
	雨竜町	獅子神楽	12名		10分	雨竜町獅子神楽保存会 (役場総務課) (0125)77-2211	昭和四十八年、町の文化財に指定。
	北竜町	北竜太鼓	20名		30分	中村裕世	
	深川市	イルム太鼓	36名		20～30分	イルム太鼓保存会 向井 (0164)25-2785	郷土に根づいた伝統のある太鼓。
	深川市	多度志獅子舞	13名		5～10分	多度志獅子舞保存会 会長桶谷 (0164)27-2353	獅子は二組、型は八尾型(二人獅子)、一から五の舞で猪退治の様を激しく勇ましく表現している。
	深川市	納内狸々獅子舞	12名		30分	納内狸々獅子舞保存会 会長 高村(0164)-24-3609	獅子は二頭(二人立ち)で一の舞から舞込みまで十五段階あり、「天狗の舞」「白狐の舞」など多彩な舞を見せる。
	深川市	狸々獅子五段くずし舞	12名		10～25分	狸々獅子五段くずし舞保存会 事務局 清水(0164)22-8286	二頭の獅子とそれを先導する狸々で悪魔を払い、五穀豊穣を祝う。「狸々」は中国の想像上の動物で、毛は赤く、人の言葉がわかり酒を好む。
	沼田町	沼田夜高太鼓	15名		10分	沼田町商工会 (0164)35-2231	富山県小矢部市から受け継いだ夜高あんどん祭りの「はやし太鼓」の伝統を守り、沼田の夜高あんどん祭りに合わせて先太鼓として町内を練り歩き祭りを盛り上げる。
沼田町	夜高あんどん振舞方	9名			沼田町商工会 (0164)35-2231	年齢、性別、既婚、未婚に関わらず、元気でこよなく「夜高あんどん」を愛して、マスメディア等で積極的にPR活動をします。	

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道央	沼田町	沼田越中獅子舞	20名		15分	沼田越中獅子舞保存会 (0164)35-2522	
	沼田町	本願寺越中獅子舞	15名		15分	本願寺越中獅子舞保存会 (0164)35-1403	明治三十四年、開拓の歟を振った人々が五穀豊穡、悪魔退散、部落安全を願い、富山県砺波郡青島より買い求めた。町指定無形民俗文化財。
	長沼町	勇獅子舞	10～15名	1回 30,000円	5～60分	長沼町勇獅子舞保存会 長沼町教育委員会 (0123)88-2111	昭和二年頃に、富山県(越中)氷見地方出身の開拓者により伝えられた民俗芸能。町の無形文化財に指定されている。
	長沼町	長沼百年太鼓	5～20名	1回 30,000円	5～60分	長沼百年太鼓保存会 長沼町教育委員会 (0123)88-2111	長沼町の開基百年を記念して、作られたもの。開拓から現在までを太鼓で表現している。
	長沼町	長沼田植歌おどり	10～100名	1回 30,000円	5分	長沼町田植歌おどり保存会 会長 曾我部義貞 長沼町教育委員会 (0123)88-2111	大正十三年頃に秋田県出身の小学校教諭により伝えられた。戦後埋もれていたが、平成六年高齢者を中心に保存会を組織した。小学生を中心に伝承。
	栗山町	かさおどり	20～40名		栗山音頭4分 栗山小唄3分	栗山商工会議所(0123)72-1278	昭和48年、鳥取県から取り入れた艶やかな彩りの傘で、栗山音頭と栗山小唄の曲に合わせて女子児童が愛らしく踊る。
	栗山町	栗山みのり太鼓	15名		5分～50分	栗山みのり太鼓 原 悟史(0123)72-6178	昭和46年に創設。小・中・高校生のメンバーが演奏する勇壮な響きと打ち手の威勢の良い太鼓。
	栗山町	艶美火舞羅	26名		4分～50分	艶美火舞羅 代表 村上 哲(0123)72-2072	日本の伝統的な太鼓の響きにシンセサイザーの音色を合わせた女性だけの和太鼓チーム。
	栗山町	銭だいこ	11名		4分～15分	銭だいこ 代表 野原信子(0123)72-4729	昭和48年に鳥取県東伯町より取り入れた。銭だいこのしゃんしゃんと鳴る軽快なリズムで観客を魅了した。
	栗山町	栗山親子獅子舞	70名		20分～30分	栗山親子獅子舞保存会 代表 古野憲次郎(0123)72-4067	親子2頭の獅子に加え、越中の踊り獅子と勇壮な加賀獅子が一体となって伝承されてきた栗山独特の獅子舞。
	栗山町	角田獅子舞	20名		15分～20分	角田獅子舞保存会 永田 英隆 事務局(0123)72-1613	四国香川県の流れを汲む二人立ち獅子舞で、猩々が獅子に酒を飲ませて酔いながら掛け合う姿は、とてもユーモラス。毎年元旦に行われていた「かがり火舞」は2018年をもって見納めとなったが、現在は郷土芸能の復活を願いながら保存継承活動を行っている。
	夕張市	夕張太鼓保存会「竜花」	6～15名	特に規定なし(応相談)	5分～30分	榊原(代表 090-1529-8788)	炭鉱閉山が相次ぐ昭和40年代、街の人々を明るく奮い立たせようと夕張神社宮司が神楽太鼓の勇壮さを取り入れ考案し、現在に至る。
道東	帯広市	平原太鼓			依頼に応じて	帯広市観光課 (0155)65-4169	十勝の風土に根ざした太鼓として十勝駒太鼓を代表に、若い打ち手による賑やかな祭太鼓などのレパートリーを持つ。独特の振り付けとバチさばきが評判。
	帯広市	十勝馬唄				正調十勝馬唄保存振興会事務局 林 三千雄 (0155) 47-1410	十勝馬唄全国大会を開催。今年は、35回目になる。十勝馬唄の技能指導講習会と資格認定審査会の開催。
	帯広市	十勝小唄				十勝小唄振興保存会事務局 十勝毎日新聞社ビル勝毎光風社内 (0155) 22-7555	十勝小唄は1927年、狩勝峠が「日本新八景」に入選したのを記念して、十勝毎日新聞社の創設者・林豊洲が作詞し、小松教祐氏が作曲して完成。十勝の創作民謡の草分けとして広く歌い継がれている。74年に振興保存会を結成。75年からは「おびひろ平原まつり」に合わせて、毎年8月に全国大会を開き、その向上と後継者の育成を図っている。
	帯広市	帯広カムイトウボボ保存会				酒井奈々子 (0155) 48-0538	アイヌ民族の古式舞踊や歌謡などの伝承保存活動を行う団体。1964年(昭和39年)に発足し、現代にいたるまで活発な活動を続けている。保存会で伝承されている歌や踊りは、代表的なものだけでも30種類以上もあり、保存会は1982(昭和57)年に帯広市の無形文化財に指定されている。2008(平成20)年には北海道文化保護功労賞と十勝文化賞を受賞した。
	帯広市	大正宮神楽				大正神社 (0155) 64-5457	年間の神楽の披露予定。6月 大正地区招魂祭 9月 大正神社秋祭 9月 大正マークインまつり 10月 帯広菊まつり 2月 大正ふれあい祭り 他。
	足寄町	雌阿寒太鼓	8～15名	1回 20,000円～	20～30分	雌阿寒太鼓保存会 会長 石井 政昭 (01562)5-4753	雌阿寒岳の豪壮雄大さとオンネトーの水青く澄んだ美しさを、変化に富んだリズムで表した太鼓。
	鹿追町	白蛇姫舞	約20名	特に規定なし(応相談)	約20分	鹿追町商工会 (0156)66-2107	アイヌの伝説として創作された白蛇姫物語からヒントを得たもので「昔、アイヌたちが大凶作に見舞われたとき、女神のお告げで『白蛇を道案内にして然別湖へ行くと、オショロコマがいるので、それを釣って飢えをしのぐように』と教えられた」という物語をもとに振り付けをしたもの。
	新得町	狩勝高原太鼓	9名	要相談	10～15分	狩勝高原太鼓保存会事務局 (090)5957-6369	開拓の夜明けから現在に至った過程、そして将来の高原都市発展への移り変わりを歌いあげたもの。
	新得町	狩勝高原太鼓	7名	要相談	10～15分	狩勝高原太鼓保存少年団育成会 事務局 (01566)4-4675	昭和五十五年設立。小学生でありながら大人にひけをとらない演奏力と表現力を持ち、現在各種イベントで活躍中。
	中札内村	石見神楽		特に規定なし(応相談)	15～20分	連絡先 元更別大国神社 石見神楽保存会 TEL 090-8632-9047 小林	島根県石見町の伝統芸能を中札内村へ入植した先祖たちが現在につたえたもの。
中札内村	ポロシリ太鼓	15名	特に規定なし(応相談)	～30分	連絡先 中札内村ポロシリ太鼓振興保存会 TEL 090-7645-0524 会長片山	保存会が持つオリジナル曲はどれも中札内村の大自然を表現している。	

北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道東	釧路市	くしろ蝦夷太鼓	8名	特に規定なし(応相談)	15～20分	北海道くしろ蝦夷太鼓保存会 (0154)22-3529	和太鼓を素材に、北海道の大自然の中に生きている人々の生産と生活、祈りを演奏のテーマとした活動を通じ、郷土芸能の振興等に貢献している。
	釧路市	太平洋太鼓	5～20名	特に規定なし(応相談)	20分	釧路太平洋太鼓事務局 (0154)24-9178	地域に根ざした郷土芸能団体として活動を行なっている。
	釧路市	アイヌ古式舞踊 (国指定重要無形民俗文化財)	9～10名		30分	阿寒アイヌ工芸協同組合 (0154)67-2727	アイヌの人々によって古くから伝承されている芸能でアイヌ民族独自の信仰に根ざした歌と踊り。
	釧路市	蕎まつり音頭	8～24名	特に規定なし(応相談)	約3分30秒	音別町郷土芸能保存会 (町教育委員会内) (0154)76-2034	主に町内・管内のイベント出演を中心として、郷土芸能の保存と伝承および振興に努めている。
	釧路町	釧路昆布森たこおどり	20～30名	協議による	20分	森 昭夫 (0154)63-2106	昭和49年創作。沿岸で漁獲されるタコのユーモラスな動きを表現した、曲調の違う3部構成となっている。
	弟子屈町	川湯ばやし	30名	1回 30,000円	15分	川湯ばやし事務局 川堰 一彦 (015)483-2326	観光祈願をこめて、天突、肩受、腰取等の形を中心に打つ。
	弟子屈町	摩周阿呆踊り	60名		15分～	摩周阿呆踊り事務局 館田 康 (015)482-2913	ひよっとこ、おかめの面をつけたユーモラスな踊り。※現在、活動休止中
	厚岸町	和太鼓集団「打ん掌」	10名	特に規定なし(応相談)		清水 巧 (0153)52-6657	大太鼓が心の奥まで鳴り響く
	浜中町	きりたつぷ浜太鼓	12名		25分	きりたつぷ浜太鼓保存会 会長 島脇 康夫 (0153)62-2636	六節から構成されており、海に生きる人々の哀感を表している。
	標茶町	標茶音頭	40～50名		4分強	標茶音頭保存会 事務局 工藤喜美子 (015)485-3916	昭和60年に町の開基100年を記念して制作され、本町の郷土芸能として保存・伝承・普及活動を目的に、町内外のイベントへ参加している。
	白糠町	白糠駒踊り	20名	特に規定なし(応相談)	10～15分	白糠町教育委員会社会教育課 文化振興係 (0154)72-2287	若駒のはりを着用し円陣を組舞踊る。はやしが生演奏のため迫力がある。
	白糠町	しらぬか駒太鼓	20名	特に規定なし(応相談)	約30分	白糠町教育委員会社会教育課 文化振興係 (0154)72-2287	青少年の健全育成を図るため、小・中・高校生から一般まで、幅広く構成している。駒踊りのリズムを元にした勇壮な創作太鼓。
	白糠町	白糠駒踊り音頭	30名	特に規定なし(応相談)	約10分	白糠町教育委員会社会教育課 文化振興係 (0154)72-2287	駒踊りを題材とし、子どもから大人までが踊れるやさしい手踊り。小学校の運動会などでも踊られている。
	白糠町	しぐれ白糠音頭	13名	特に規定なし(応相談)	約10分	白糠町教育委員会社会教育課 文化振興係 (0154)72-2287	白糠村開村50周年記念で行われた小唄募集で1位になった小助川濱雄の「しぐれ白糠」に踊りをつけて音頭として発表された。
	根室市	ねむろ太鼓	16名	30,000～50,000円	30分	ねむろ太鼓保存会 (0153)23-4705	漁業の街根室の伝統的郷土芸能として昭和48年に発足。平成3年度の「根室市文化奨励賞」を受賞している。
	根室市	ごようまい獅子神楽	20名	特に規定なし(応相談)	15分	ごようまい獅子神楽保存会 代表 小田島 義浩 (0153)28-2231	大正2年に富山県黒部市から瑤瑤瑤に移住して来た人達によって伝承され、昭和42年に保存会が結成し、43年に根室市無形文化財に指定。
	根室市	厚床獅子舞	34名	30,000～50,000円	10～15分	厚床獅子舞保存会 (0153)26-2220	昭和47年に誕生した厚床獅子舞を郷土芸能として継承とし、昭和51年に保存会を創設。
	根室市	友知うしお樽太鼓		特に規定なし(応相談)		友知うしお樽太鼓育成会 湊屋 建蔵 (0153)22-3653	小学生で構成されており、青少年健全育成と地域文化の発展を願い受け継がれている。現在、人数不足の為、休会中。2008年秋頃を目処に再編成し、詳細を決定。
	別海町	野付竜神太鼓保存会	40名		50分	野付竜神太鼓保存会 (0153)86-2166	野付竜神崎で最初にたたかれたのが名称の由来で150年の歴史を持ち、当町の郷土芸能認定第1号でもあります。
	標津町	しべつとどわら太鼓保存会	30名	30,000円	60分	千葉元会長 (0153)82-2366	結成から40年。地域の産業や自然をモチーフにした曲作り、演奏を行う。標津町の自然や情景、酪農や漁業の営みをモチーフに独創的な演奏活動を行っている。迫力ある演奏は圧巻。
	羅臼町	知床いぶき樽	9～13名		13～15分	知床いぶき樽保存会 担当: 平田 充 (0153)87-2126	木樽をたたくことで、知床の四季を表現する郷土芸能。
	網走市	豊郷神楽(とよさとかくら)	33名	協議による	12幕(全体で6時間程度)	豊郷神楽保存会 会長 堀田泰弘 (0152)44-2519	毎年8月1日の豊郷神社祭典に奉納される。 近年は豊郷神社祭典のみならず、網走港への客船歓迎式典で郷土芸能として奉納依頼を受けたり、友好都市糸満市より交流記念事業に招待されたりと活動の場を広げつつある。 (仙台神楽をルーツとし市内豊郷地区において郷土芸能として、明治42年から1回も休まずに奉納されている。)
	網走市	オロチョンの火祭り	15名		約1時間	網走市観光協会 (0152)44-5849	神と通じ合うことができることとされる特能者シャーマンが登場し、伝統に則り厳粛で荘厳な踊りが繰り上げられる。北方系民族の儀式や風俗を取り入れた網走だけのユニークな創作行事。
	紋別市	紋別流氷太鼓	10名	特に規定なし(応相談)	10～30分	上森化粧品店 (0158)23-3030	オホーツク海に流氷が厳しく押し寄せ、海一面が流氷に閉ざされる。やがて春の海明けが始まる。その怒濤逆巻くオホーツク海を表現している。
紋別市	はばたき太鼓	20名	無料	約20分	上渚滑中学校 (0158)25-2172	未来へ向かって大きくはばたくという思いを表現した太鼓。上渚滑中学校が平成6年に学校教育活動として取り入れた。	
紋別市	紋別沖揚音頭	40名	特に規定なし(応相談)	30分	紋別漁業協同組合 (0158)24-2131	かつて鯨漁の出漁、操業、帰港までの沖揚げ作業を歌と踊りで表現した音頭。	

# 北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道央	斜里町	知床流氷太鼓	10～12名	1回 50,000円	15～20分	知床流氷太鼓保存会 (斜里町商工会内菊地孝司) (0152)23-2185	「流氷太鼓」「オジロワシ太鼓」「豊年太鼓」「希望(のぞみ)」「ねぶた囃子」など知床の特徴を表現した曲を中心に、道内・道外で多数の出演実績あり。
	斜里町	しれとこ斜里ねぶた	30～50名	協議による	協議による	友好都市弘前ねぶた斜里保存会 斜里町役場企画総務課内 (0152)23-3131	友好都市・青森県弘前市から伝えられた、鏡絵(前)の雄姿と見送り(後)の美しさが対照的な「扇ねぶた」
	美幌町	美幌峠太鼓保存会	20名	1回 5,000円～	5～60分	美幌峠太鼓保存会 (0152)73-5581	昭和五十五年に結成され、天下の絶景・美幌峠の雄大さを表現している。子供を中心に演奏。
	津別町	山鳴太鼓保存会	20名	協議による	4～30分	山鳴太鼓保存会 松平 範慶(佛願寺) (0152)76-2041	昭和五十五年結成。地域の産業・歴史の鼓動、人々の生活をテーマとした様々な曲の創作と演奏活動を行なっている。
	湧別町	サロマ湖太鼓	15名	協議による	30分	湧別サロマ湖太鼓保存協力会 代表 林 恵美子 (01586)2-3489	湧別の雄大な自然をテーマにした曲風が多い。女性中心に結成した太鼓。
	北見市	北見屯田太鼓	8～12名	1回 (市内)50,000円	10～20分	北見屯田太鼓保存会(株式会社渋谷) (0157)23-6241	北見市の長い歴史の中から、北見の風土に適した郷土の芸能をと市民有志の熱意により昭和四十七年に誕生した。
	北見市	北見風雪太鼓保存会	20名～30名	協議による	10分～1時間	保存会会長 秋山隆樹 (0157)22-1125	平成8年、北見市開基100年を記して秋山流古典和太鼓を中心に組織し、誕生。青少年の健全育成を目指すとともに、郷土発展のために尽力している。
	北見市	北見オホーツク太鼓 青虎天真	23名	協議による	10分～40分	代表 石崎 恵美子 (0157)69-3530	全国大会で受賞する演目から、地域のイベント等での親しみやすいものまで、幅広い演目に取り組んでいる。
	北見市	北見飛龍太鼓	42名	特に規定なし(応相談)	依頼に応じて	代表 清水 秀子 090-4206-6392	平成8年3月発足。子どもから大人まで、太鼓の好きな仲間たちの集まりです。地域の祭り・イベントに出演のほか、伝統文化の継承にも努める。
	北見市	るべしべ「留青太鼓」	12名	協議による	10分	細川敏明(0157)42-5808	青年団体協議会から出発し、地域に根ざした活動を目指している。
	北見市	北見池川神楽保存会	15名	特に規定なし	10分～4時間以内	長谷川 (0157) 22-0535	北見に郷土芸能を根付かせるために2006年に会を発足。神社への奉納や地域イベントでの演舞などで活動しています。
	置戸町	山神太鼓(さんじんだいこ)	10名	10,000～30,000円	15～20分	山神太鼓愛好会(細川) (0157)52-3742	昭和52年発足。木の町置戸、丸太の廃材利用した太鼓を用いてる。
	遠軽町	山彦太鼓	7名		20分	遠軽町丸瀬布総合支所産業課 (0158)47-2213	丸瀬布の自然をテーマとした四曲(雨宮太鼓他)を有している。
	遠軽町	ひらやま太鼓	11名	協議による	30分	ひらやま太鼓愛好会(会長宅) (01584)8-2226	地域の風土に根ざした曲。天狗打ち、巴打ちを演奏する。
遠軽町	がんばう太鼓	26名	協議による	1曲5～7分 持ち曲12曲	がんばう太鼓同好会 (01584)2-5535	昭和51年結成。町内の各種催し物に参加。昭和61年6月ブラジル移民80年郷土芸能まつりに参加した。また、近年町内外の小・中・高校生にたいする太鼓指導を積極的に行っている。	
道北	旭川市	アイヌ古式舞踊 (国指定重要無形民族文化財)	20名	協議による	20～30分	川村カ子ト アイヌ記念館 (0166)51-2461	アイヌの人たちによって伝承されたもので、座って輪になりはやしたり、立って踊りながらはやしたてたりする。
	旭川市	旭川獅子舞	10名	協議による	10～15分	上川神社獅子舞部 (0166)31-8429	富山県黒部市釈迦堂で行われていた獅子舞に由来するものといわれている。
	旭川市	神楽獅子舞	36名	協議による	30分	神楽獅子舞保存振興会 (0166)75-3317	富山県下新川郡入善町小摺戸地区の獅子舞に由来するものといわれている。獅子に2人が入る昔ながらの形態を残し、大勢の天狗が登場する。
	旭川市	永山獅子舞	10名	協議による	10分	永山獅子舞保存会 (0166)48-6304	富山県黒部市若栗地区中村集落の獅子舞に由来するものといわれている。獅子舞の他、おかめが登場。
	旭川市	豊田獅子舞	30名	協議による	20～30分	豊田獅子舞組 (0166)76-2009	永山獅子舞の流れをくみ、富山県黒部市若栗地区中村集落の獅子舞に由来する。
	旭川市	福島踊り	30名	協議による	10分	ペーバン福島踊り保存会 (0166)76-2129	福島県伊達郡保原町の盆踊りに由来するものといわれている。そろいの衣装をつけ、輪になって踊り、仕草にしなやかさのある踊り。
	旭川市	越中盆踊り	20名	協議による	10分	東鷹栖越中盆踊り保存会 (0166)57-4180	富山県下新川郡宇奈月町愛本の盆踊りに由来する。
	旭川市	雨紛囃子	10名	協議による	15分	雨紛囃子保存会 (0166)62-6132	埼玉県新座市大和田に伝わる大和田囃子に由来する。大和田囃子の演目と独自に創作した踊りを加えたバラエティに富んだ構成。
	旭川市	嵐山笠踊り	20名	協議による	5分	嵐山笠踊り保存会 (0166)62-1703	栃木県足利市を中心に伝承されてきた八木節の唄に合わせて、踊る。
	上川町	火まつり太鼓	20名	1回 50,000～100,000円	15～45分	上川町産業経済課 (01658)2-1211	峡谷火祭り、氷瀑まつり等で活躍し、祭り一つ一つに太鼓を創作し、レパートリーも増えている。
	上川町	アイヌ民族舞踊	14名	1回 20,000円～	30分	(社)層雲峡観光協会 (01658-2-1811)	親子、兄弟全て身内で行う舞踊
	名寄市	風舞連	30名前後	1回 30,000円程度	20分	高山恵理(090-9523-5027)	最北の阿波おどりグループ『風舞連』・・・名寄市を拠点に、道北市町の仲間とともに活動しています。



北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道北	東川町	羽衣太鼓	3～15名	1回 30,000～50,000円	10～20分	羽衣太鼓保存会 (0166)82-2111	「清流勇み打ち」は、大雪山の雪渓から流れ出るわずかな水が、やがて大きな流れへと変わり、石狩川となって流れる様子を太鼓によって表現したもの。他に三曲ある。
	東川町	氷彫刻	40名			東川町教育委員会 (0166)82-2111	日本における氷彫刻発祥の地として知られる東川町。透明な輝きを放つ氷彫刻は幻想的です。
	東神楽町	義経桜太鼓	5～12名	特に規定なし(応相談)	10～20分	義経桜太鼓保存会 (0166)83-2111	昭和45年発足以来、大雪山連峰の峰々に響き渡る勇壮な太鼓の音。「桜吹雪花雲舞打ち」は、桜の名所として知られる義経台の桜吹雪をイメージして作った力作です。動と静のリズムを巧みに組み合わせ、華麗に舞い散る義経桜を力強く、美しく、表現しています。
	美瑛町	白金太鼓	15～20名	1回 30,000円	30分	美瑛町商工観光課 (0166)92-4321	十勝岳連峰、白金温泉等地元の情景をドラマチックに表現している。
	上富良野町	安政太鼓	4～10名	1回 25,000円～	20～30分	かみふらの十勝岳観光協会 (0167)45-3150	十勝岳安政火口が名の由来。
	上富良野町	清流獅子舞	14～15名	1回 20,000円～	15分	かみふらの十勝岳観光協会 (0167)45-3150	笛や太鼓で天狗と獅子が舞い遊ぶ踊り。
	中富良野町	中富良野町郷土芸能葵太鼓保存会	10～20名		30分	中富良野町教育委員会 社会教育係 (0167)44-2204	昭和五十二年八月に誕生した郷土芸能。町の行事には欠かせない存在として定着している。
	中富良野町	津軽獅子舞保存同志会	21名		30分	中富良野町教育委員会 社会教育係(0167)44-2204	昭和の初め頃より古老や有志により伝承された。曲目は五曲、楽器は笛、太鼓など。狙いは悪きを倒し、平和な明るい社会を作ること。
	中富良野町	中富良野雅楽会	9名		30分	中富良野町教育委員会 社会教育係 (0167)44-2204	昭和八年ごろ結成され、現在に至る。伝承は口伝、現在使用している楽器は大太鼓、笛など。
	富良野市	北海へそ踊り	10～20名	協議による	15分	北海へそ踊り保存会 (0167)22-2752	富良野市は北海道の中心で人にとるとへソにあたるため創案された踊り。腹に絵を描きへソ音頭に合わせて踊る姿は、ユニークであり全国でも有名。
	富良野市	弥栄太鼓	10～16名	協議による	15分(2曲)	富良野弥栄太鼓保存会 (0167)22-5427	昭和四十八年、富良野市七十周年の記念すべきときに発足した太鼓。
	富良野市	獅子舞	30名	協議による	15分	獅子舞保存会 (0167)23-4557	1902年頃から農民に伝承されてきた。昭和43年に文化団体を中心とする市民の支援を受けて再出発した。
	占冠村	占冠神楽	10名～	応相談(基本的に無料)	20分～	占冠村教育委員会 (0167)-56-2183	広島県から入植者により広島神楽として受け継がれていたものを、永く保存しようと占冠神楽と改める。保存会を結成し、村の郷土芸能として村内における各種イベント等において披露している。
	稚内市	稚内海峡太鼓	7～10名	1回 50,000円	30分	稚内市水道部 玉根 文之 (0162)23-6161	波高い宗谷海峡の荒々しさと、厳しくもたくましく生き抜く者たちを太鼓で表現。
	利尻富士町	南浜獅子神楽	15名	協議による	20分	利尻富士町教育委員会 (0163)-82-1370	明治時代、富山県方面から来た若い衆達が、鯨大漁を祈って島の祭典で踊ったのが伝承されたもの。
	利尻富士町	鯨沖上音頭	42名	無料	20分	利尻富士町商工会 (0163)-82-1125	昭和五十五年に商工会青年部の人たちによって結成された。鯨漁華やかなりし頃、漁労の時に唄われた労働歌。(休止中)
	利尻富士町	魁太鼓	14名	協議による	15分	魁太鼓保存会事務局(鬼脇漁業協同組合) (0163)-83-1221	昭和六十年に鬼脇漁組青年部が基幹産業の漁業の衰退に負けないように、漁業振興のため、生産意欲をふるいたさせるため、「心のよりどころ」として興した。(休止中)
	礼文町	礼文太鼓	7～10名	特に規定なし(応相談)	30分	礼文町産業課 (0163)86-1001	礼文島の四季をイメージした4曲からなり、穏やかな夏、荒々しい冬、高山植物の咲きみだれる風景などを想いおこさせる。
	枝幸町	千畳岩太鼓	8名		15分	事務局:田村 信義 0163-62-2259	
	枝幸町	上音標獅子神楽	16名		約1時間	オホーツクミュージアムえさし (0163)62-1231	大正7年に入植者が紀州熊野神社から100年余の歴史を持つ獅子神楽を伝えたもの(現在休止中)
	枝幸町	歌登やまびこ太鼓	8～9名	特に規定なし(応相談)	15分	代表:櫻井 貞男 0163-68-2061	
	羽幌町	オロロン太鼓	44名	特に規定なし(応相談)	30分	教育委員会社会教育課 (0164)62-5880	昭和四十八年に郷土芸能の創造を目的に発足。
	羽幌町	加賀獅子舞	80名	特に規定なし(応相談)	20分	教育委員会社会教育課 (0164)62-5880	大正十一年頃に石川県内灘町から伝えられ、羽幌神社祭典に奉納したのが始まり。
	羽幌町	越中赤坂奴舞	32名	特に規定なし(応相談)	30分	教育委員会社会教育課 (0164)62-5880	大正十二年頃富山県から伝えられ、羽幌神社祭典に奉納したのが始まり。
	羽幌町	清龍太鼓	9名	特に規定なし(応相談)	20分	教育委員会社会教育課 (0164)62-5880	昭和53年に筑別・上筑・曙地区で農業を営む若者を中心に発足。
	羽幌町	こきりこ唄	30名	特に規定なし(応相談)	20分	教育委員会社会教育課 (0164)62-5880	昭和54年富山県から伝えられ、愛好会として発足したのが始まり。

# 北海道の主な郷土芸能一覧

平成30年4月更新

	市町村名	名称	編成	出演料	所要時間	連絡先	一口メモ
道北	羽幌町	平越中獅子舞	15名	特に規定なし(応相談)	20分	教育委員会社会教育課 (0164)62-5880	明治29年富山県から入植した24戸の先人が手作りの獅子頭で舞ったのが始まり。
	初山別村	有明獅子舞	36名程度	特に規定なし(応相談)	60分	有明獅子舞有志の会 会長 佐古 大 (0164)67-2717	明治31年に富山県から移民した人が、この地に伝承した。
	天塩町	天塩町越中獅子保存会	20名	50,000円(1回最低)	20分	天塩町教育委員会 (01632)2-1026	町の開拓と同時に富山県の越中獅子が伝わったもの。勇壮、活発な舞で開拓魂を象徴している。
	留萌市	留萌黒潮太鼓保存会	17名	特に規定なし(応相談)	15分	留萌黒潮太鼓保存会 会長 和島 昌彦(0164)43-4237	地域住民に対し福祉環境を共有することを目的に活動。激流暑寒太鼓、北海四季太鼓北海駒牧(こまき)太鼓、みさきの4曲がある。
	留萌市	留萌岩戸神楽	50名	特に規定なし(応相談)	30分	留萌市教育委員会生涯学習課 (0164)42-0435	大正10年頃に下北半島より、やん衆の間に伝わった都市集落型の獅子神楽
	下川町	下川溪流太鼓	10名程度	特に規定なし(応相談)	約8分	下川溪流太鼓 会長 矢内辰二(01655)4-2467	太鼓を通じ、郷土の誇りや開拓者の苦勞を伝承し、活気あふれる町を目指し昭和59年から続けられています。
	下川町	上名寄郷土芸能	10名程度	特に規定なし(応相談)	約5分	上名寄郷土芸能保存会 会長 黒川仁一(01655-4-4281)	明治34年に入植した開拓者により唄い踊られてきた伝統芸能で、現在も保存会により伝承されています。
美深町	びふか北斗太鼓	8~10名	協議による	20分	びふか北斗太鼓芸能保存会 会長 蛸崎恒夫(01656)-2-3046	大人会員と少年部(小1~高3)がある。全曲蛸崎会長のオリジナルで、美深町の自然をイメージに静から動、優しさから激しさを取り入れた太鼓。	